



オンライン開催

# 摂食嚥下訓練手技の理解と実践

— 運動学的アプローチと効果的な方法 —

講師 柴本 勇先生 (聖隷クリストファー大学)

2022 12/18(日) 13:00~15:30

摂食嚥下では、口腔顔面の運動をはじめ、喉頭運動、声帯運動、呼気運動、咽頭収縮など、多部位が協調し合って短時間のうちに多種の運動を生起します。そのような背景から、摂食嚥下訓練では運動学的視点のアプローチを多く行います。訓練では、目標とする運動をねらい通りに生起することが重要です。その理由は、うまくできなければ、有効な効果に繋がらないからです。普段私たちが行っている訓練は、効果的な方法で行われているのでしょうか？効果的に実施できているように見えても、異なるアプローチになっている場合があります。臨床での落とし穴です。本セミナーでは、日頃行っている嚥下訓練手技について、その目的やねらいを1つ1つ確認しながら、実施や指導の際に重要なポイントを実演します。この機会に、摂食嚥下訓練で求められる具体的訓練手技について確認しましょう。

## 1. 舌骨上筋群筋力向上を目的とした訓練手技

①頭部挙上訓練 ②嚥下おでこ体操 ③開口訓練 ④舌挙上訓練  
①～④について表面筋電計を用いた実演を通じて、どのような方法でどのような成果が得られるか説明します。負荷量も考えたいと思います。

## 2. 努力嚥下・メンデルゾーン手技

イメージがわきにくい手技について説明します。訓練方法によってどのような筋活動が得られるかや方法の獲得について説明します

## 3. 呼気筋トレーニング・吸気筋トレーニング

嚥下にどのような効果があるのでしょうか？  
最終的に何を求めるかを運動学的に実演しながら説明します。

## 4. 姿勢(体幹・頸部)の違いによる筋活動の違い・舌圧の違い

姿勢調整は食物の動きの視点から調整することが多いですが、運動パフォーマンスという視点ではどうでしょうか。それぞれの長所と短所を理解して選択できるよう、両者を検証し説明します。

## 【対象】

言語聴覚士 ほか

## 【参加費】

言語聴覚療法臨床研究会  
会 員 無料  
非会員 3,000 円

## 【定員】

250 名

## 【申込締切】

2022 年 12 月 12 日 (火)  
定員になり次第締め切ります。

## 【申込方法】

当研究会ホームページ  
または右記の  
QR コードから  
お申し込みください。

